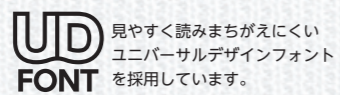
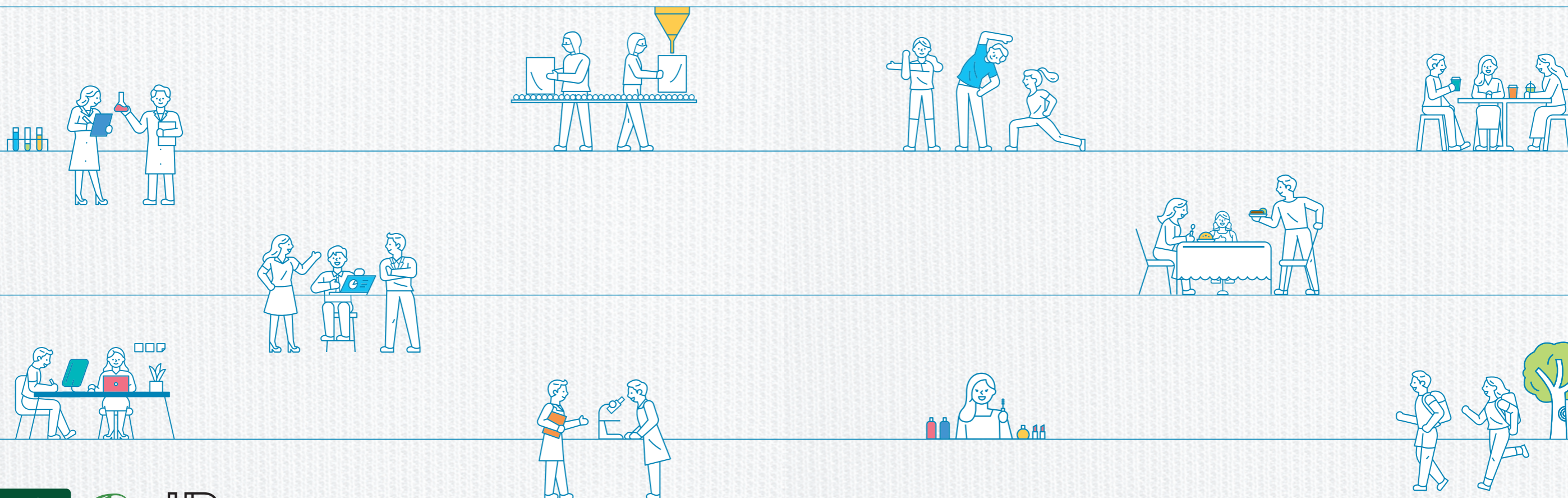


# TAIYO KAGAKU REPORT 2020



# 私たちは、食と生活を支える 研究開発型のソリューション企業 です。

太陽化学グループは、社会から信頼され、必要とされる企業を目指します。一人ひとりの社員が基本理念である「好奇心 そして行動」の精神の下、社業に取り組み「進化」し続けることが、太陽化学グループの社会的な責任であると考えます。

## 課題解決型の企業として 社会への貢献を果たす

太陽化学は、食品・化粧品などの素材を広く社会に提供しています。今ではインターフェイスソリューション、ニュートリション、アグリフードという3つの事業を展開していますが、それぞれの歴史を振り返ると、どの事業も時代の要請を受け、課題解決を実現して成長を遂げてきました。

創業間もなく食品用乳化剤・安定剤を開発し、大衆消費時代に向けた食品の大量生産を可能としました。乳化剤は今もインターフェイスソリューション事業の主要製品です。また、鶏卵加工における衛生管理の向上を図り専門会社を設立。これがアグリフード事業につながりました。さらに健康志向の時代の到来を見据えニュートリション事業を立ち上げ、緑茶カテキンなど栄養素材の開発を進めています。

私は1997年に代表取締役社長に就任した後、すぐに社内のいたるところに残されていた先代・先々代の社長の言葉を収集し、基本理念として体系化する作業に着手しました。

代表取締役社長

小崎 長 宏

当社は技術開発で生きている会社です。約70年にわたり地道に研究開発を積み重ね、まだ世の中にはない新技術を生み出してきました。技術を生み出すのは「人」ですから、当社にとって人財は重要な経営資源といえます。今後も未来に向け、さらに社会の役に立つ会社として成長を目指すためには、社員に会社が進むべき方向性を示し、一人ひとりが業務を進める際に指針となるものが必要と考えました。それが基本理念の策定を決めた理由です。

改めて会社の変遷、当時の経営者の言葉とそこに込められた想いに触れ、当社の基本的精神とは何かを社内の全員で議論しました。その結果として言葉になったものが「好奇心 そして行動」です。時代の一步先を行く提案力を強みとする研究開発型企業として、常に新しいことへの継続したチャレンジこそ社会への貢献、企業価値の向上につながる道と考えています。

## 持続可能性を意識した事業活動を ステークホルダーに伝えるために

食と健康に関わる当社の事業はCSRそのものですが、一般消費者に向けた身近な製品がないことなどから具体的な事業内容を分かっていたきにくく、情報開示の際には常に説明の難しさを感じてきまし

## 基本理念

# 好奇心 そして行動

Imagine, Desire and Create

た。本レポートで業績にとどまらず市場環境の変化、事業の変遷などを交えて当社としての考え方を幅広く発信することにより、少しでも当社へのご理解を深めていただくことを期待しています。

当社は従来から持続可能性を意識した事業活動を展開してきました。新しい概念としてSDGs(持続可能な開発目標)が登場し世界的に広がっている状況を踏まえ、当社の活動をSDGsと関連付けてご紹介することで、より効果的な情報発信をしたいと考えています。

今後も「太陽化学レポート」を通して継続的な情報発信に努めていきます。ステークホルダーの皆様には、引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



太陽化学では、このたび、当社に関する情報開示や、当社のCSRに関する考え方及び取り組みについて、その全体像をすべてのステークホルダーの皆様に対し、より広くご理解いただくことを目指して、当社にとって初めての「太陽化学レポート」を発行しました。本レポートでは、当社が事業活動を通じて社会や地球に対して果たしている役割や取り組みをご報告しています。

### ■ 報告対象期間

原則として2019年4月から2020年3月を対象期間としていますが、当該期間以前もしくは以後の活動も報告内容に含まれています。

### ■ 報告対象範囲

太陽化学を中心に一部グループ会社を含みます。

### ■ 次回報告書の発行予定

2021年6月を予定しています。

### ■ 参考にしたガイドライン

編集に当たり、社会的責任の国際規格「ISO26000」を参考にしました。

## Contents

Top Message	1	お取引先様とともに	15
価値創造の歴史	3	お客様とともに	15
Imagine ～研究開発～	5	従業員とともに	17
Desire ～3つの事業と製品群～	7	地域社会とともに	20
Create ～高付加価値なものづくり～	9	株主・投資家の皆様とともに	21
CSRマネジメント	11	コーポレート・ガバナンス	22
地球のために	13	会社概要	25

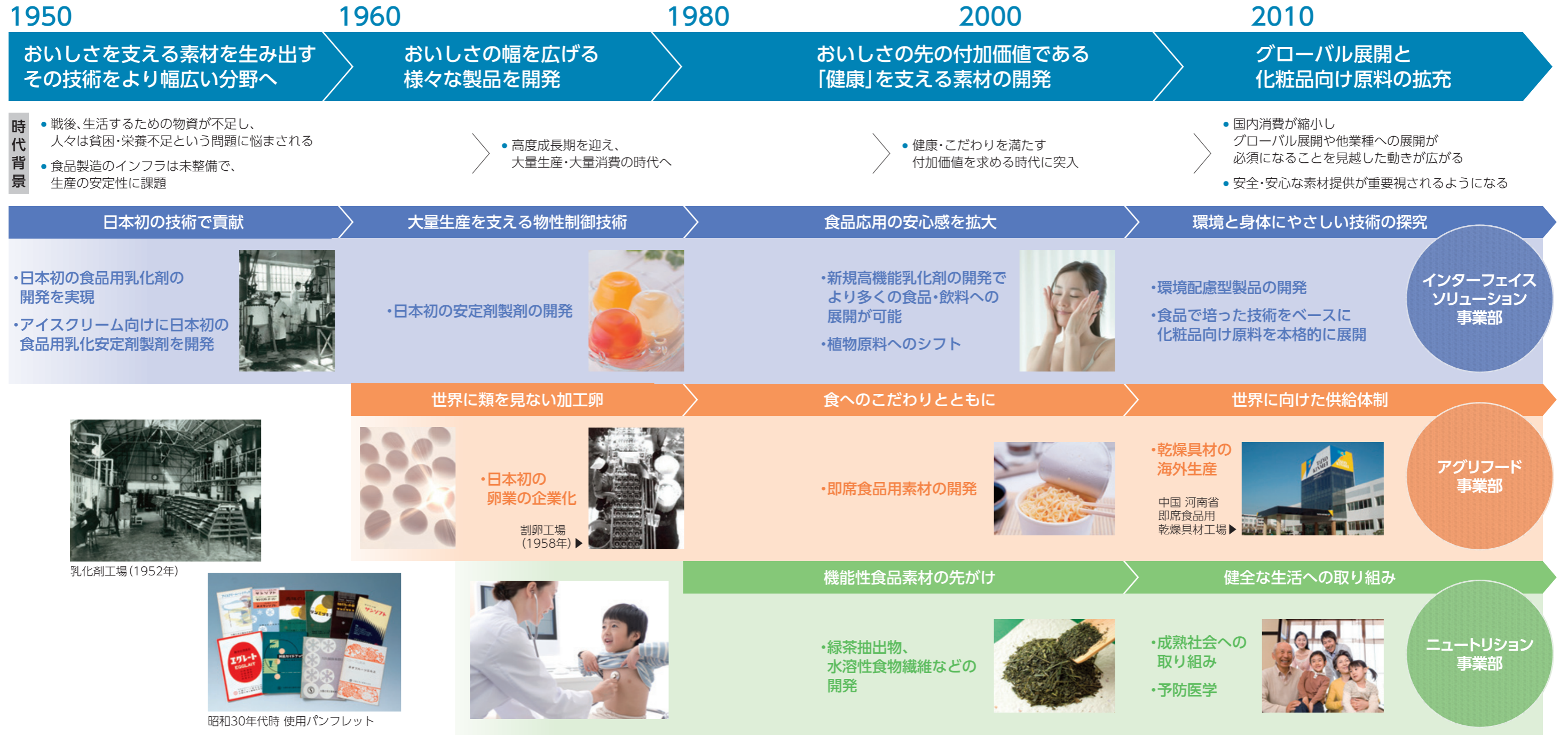
# 『Imagine, Desire and Create』 太陽化学の価値創造の歴史

太陽化学は、伝統的な天然素材から、最先端技術を応用した新規素材まで様々な食材・工業用途向素材を取り扱うとともに、研究開発型企業として、無限の可能性を秘めた機能性食品素材の創造に取り組んでいます。私たちは、食と生活を支える研究開発型のソリューション企業として、新しい価値を「創造」し続けます。



本社外観(1956年)

現在、太陽化学は、インターフェイスソリューション、アグリフード、ニュートリションという3つの事業を展開していますが、それぞれの歴史を振り返ると、どの事業も時代の要請を受け、課題解決を実現して成長を遂げてまいりました。



- ▶ 石鹼を製造する界面制御技術を活かし、効率よく生産するための素材として日本初の食品用乳化剤の開発を実現
- ▶ アイスクリーム向けに日本初の食品用乳化安定剤製剤を開発

- ▶ 大量生産化を見据え、これまで家内工業に近かった鶏卵加工品に企業として初めて取り組み始める
- ▶ 大量生産化の時代を超えた後の「差別化」の必要性を予測し、凍結粉碎、凍結濃縮、マイクロ波加工などの加工技術を駆使、様々な先進素材を開発

- ▶ 緑茶抽出物、水溶性食物繊維などの健康機能性素材の開発を進め、付加価値を追求

- ▶ 研究から生み出された機能性素材が、欧米など国際展示会で数々の賞を受賞



◀ 欧米での表彰トロフィー

- ▶ 食品で培った技術をベースに、化粧品向け原料を本格的に展開
- ▶ 長年培った界面活性技術を駆使し、環境配慮型製品メソポーラスシリカ、植物系樹脂改質剤を開発

# 素材の特徴を活かし より高い価値へ変換する 「研究開発型企業」

貢献できる  
SDGsの目標



将来、社会で必要とされる「こと」「もの」に好奇心を持ち、  
その実現を目指して地道な研究開発という「チャレンジ」を続けます。

## 研究開発を深く掘り下げる

将来、必要となる「こと」「もの」をつくるためには、新たな機能の開発や改良が不可欠です。それを実現するためには、日々の地道な研究開発を継続するしかないと考えています。「すぐに役立つかどうか分からない」「研究内容が無駄に終わるかもしれない」研究開発には、約束された成果も明確なゴールもありません。しかし、**太陽化学は、人類の未来に想いを馳せながら、研究開発に取り組んでいます。**

### 社員の4人に1人が 研究開発職

基礎研究から用途開発まで、多くの社員が研究開発に携わることで、太陽化学の根幹を築いています。



### 日本初の3つの取り組み

「食品用乳化剤の開発」「食品用乳化安定剤の開発」「鶏卵加工品の企業化」という3つの日本初を誇ります。



### 国内外で60件を超える受賞歴

国内で50件以上、海外で10件以上の「技術」に関連する数々の受賞歴があります。特に近年は特許表彰が多く、食品関連の技術で中部発明表彰を10回以上受賞しています。



## オープンイノベーション

### 太陽化学の目指す研究開発

太陽化学は、国内外の様々なネットワークを活用し、外部技術の収集・活用を積極的に進めています。テーマや目的を同じくするアカデミックとの共同研究、病院との連携など、様々な取り組みを行い、外部機関との共同研究の数は50件を超えています。

### 太陽化学のオープンイノベーション

太陽化学では、「コア技術」をさらに進化させ、皆様とともに新しい価値を創造する活動の一環として、保有する技術や技術ニーズの公開と「外部技術情報の収集・活用」を積極的に行っています。

### 最近の研究報告(抜粋)

テーマ	
認知改善に対するL-テアニンの有効性	WFSBPとNutrition2019(アメリカ)
緑茶カテキンEGCgの口腔環境の有効性	第68回日本口腔衛生学会・総会(滋賀)
モリンガ種子抽出物の抗疲労効果の検証	日本農芸化学会2019年度大会(東京)
自閉症スペクトラム障害児童に対するグアーガム酵素分解物の有効性	日本農芸化学会2019年度大会(東京)
生活習慣の変化に対するグアーガム分解物の有効性	ICoFF2019(第7回国際フードファクター会議、神戸)
下痢傾向健康者に対するグアーガム分解物の有効性	ICoFF2019(第7回国際フードファクター会議、神戸)
生活習慣病モデルマウスに対するグアーガム分解物の有効性	ICoFF2019(第7回国際フードファクター会議、神戸)



## グローバル研究開発拠点

太陽化学は世界中の方々の健康、食、生活文化の発展のために尽くしてきました。国内外で数多くの賞を受賞しており、これからも世界の人々の健康と豊かな生活文化に貢献します。

**中国**  
無錫太陽緑宝科技有限公司：開発室  
中国市場への当社製品の応用展開をサポートしています。

**日本**  
四日市：研究所  
各分野の専門知識を集結し、日々新たな技術を創出しています。未来に向けた、素材の特徴を活かし、より高い価値へ変換することを目標に、研究開発を行っています。

**タイ**  
TAIYO Bangkok：バンコクキッチンラボ  
ASEAN市場への当社製品の応用展開をサポートしています。

**インド**  
TAIYO KAGAKU India Pvt. Ltd.  
インド(TKI)の研究室では、伝承医学として知られたアーユルヴェーダを基とした古来からのデータやストーリー性に富んだ数百に及ぶ健康機能性素材をリスト・体系化し、国内外のマーケット動向とリンクさせながら新規素材の調査を行っています。また現地の研究員がサンファイバー、モリンガエキスをはじめとする原料の品質(有効成分の分析、栽培収穫方法指導、製法改良など)にこだわって、安全・安心な原料の確保に努めています。

**東京：おしさ科学館**  
人の感覚を大切にしながら、機器分析と統計解析を用いて「食品のおしさ」や「化粧品の使用感」をこれまでより一歩深めた次元で表現することに取り組んでいます。

**東京：アプリケーション開発**  
飲料、化粧品、デザートなど、アプリケーション機器を備え、各分野のエキスパートが様々なニーズに対応した試作、応用開発を進めています。

**Global Network TOPICS**  
グローバル会議  
当社では、アジア会議、欧米会議を年に1度開催しています。各エリアの計画や活動内容、市場動向などを共有し、全エリアで横展開していくことを目的とし、研究所内で応用開発を担当している海外統括部アプリケーショングループからの提案と各事業部からの新商品、新データの紹介を行い、各社帰国後にユーザーへの紹介を進めています。

## 製品 TOPICS

### 環境配慮型製品「太陽化学メソポーラスシリカ」 ～食品ロスの低減を通じて、持続可能な社会に貢献～



太陽化学  
メソポーラス  
シリカ



太陽化学メソポーラスシリカ(TMPS)は、当社が持つ独自の界面制御技術を活用して創出した素材で、均一で規則的な細孔(メソ孔)を持つ二酸化ケイ素(シリカ)です。太陽化学が実用的量産化に成功し、ナノテク先端技術の実用化を目指して産業界での広域な応用開発を進めています。

TMPSはG7 2016伊勢志摩サミットにおいて、三重県が国際メディアセンター内に設置する「三重情報館」に展示されました。

TMPSの細孔内にプラチナナノ粒子を担持させた触媒(TMPS-Pt)は、植物の老化を促進するエチレンを常温以下で分解し、野菜・果物等の鮮度保持・廃棄物低減に活用されています。

私たちはTMPS-Ptによるフードロスの低減を通じて、持続可能な社会に貢献します。

エチレン分解によりレタスの鮮度を保持しています

触媒なし

触媒あり

室温 9日後

触媒なし

触媒あり

# 食生活を多角的に支える 3つの事業と製品群

貢献できる  
SDGsの目標



太陽化学は、時代のニーズと技術を組み合わせることで、新たな製品を数多く生み出し、扱う製品の幅を広げてきました。3つの事業部が多種多様な製品をラインナップし、より豊かで安全・安心な食品加工を豊富な素材でサポートしています。今では、食に関わるほとんどの業界で、太陽化学の製品が活用されています。幅広い製品とその機能が多様な選択肢となり、新たなソリューションを生み出す源となっています。

## ▶ インターフェイスソリューション事業部

創業以来培ってきた「界面制御技術」を深く研究・探索することで、付加価値の高い製品を開発・提供しています。

食品分野においては精油類や油溶性ビタミン類を水中に透明溶解するスーパーエマルジョン、油脂の結晶・粘性を制御する油脂改質、乳化剤に多糖体及び蛋白質を複合させたコロイド制御など、食品の新たな可能性を創造する基盤技術として活用されており、食品の加工適性の向上や、食品ロスの削減につながっています。

また、太陽化学の界面制御技術は食品にとどまらず、非食品分野にも応用されています。例えば化粧品分野では、乳化・可溶化・洗浄・抗菌など、幅広い機能を持つ低刺激で安全な化粧品向け素材として世界中で使用されています。



## ▶ アグリフード事業部

野菜、タマゴなど農産物そのもの持っているおいしさや栄養を最大限に引き出すために、世界各地からトレーサビリティを確保できる農産物を調達し、安全・安心とともに皆様にお届けします。さらに、独自の加工技術で、素材の良さを最大限に引き出したオリジナリティー豊かな商品づくりに努めています。また、昨今のグリーンラベルの動向にも対応すべく、天然の改良剤としてのナチュラルな改良剤提案を行っています。



## ▶ ニュートリション事業部

「緑茶カテキン」「水溶性食物繊維」「L-テアニン」などの栄養素材には、現代社会に求められるストレス緩和、生活習慣病予防などに有効な生理機能が備わっています。水溶性食物繊維(グアーガム分解物)は、便秘と下痢を改善する効果を利用して医療分野でも広く活用されています。

また、ビタミンやミネラル、多価不飽和脂肪酸といった栄養素材は、健康な生活を維持する上で必要不可欠な成分です。太陽化学は健康増進を求める消費者ニーズにお応えするため、生理機能性素材の探索と、機能性素材が抱える特有の問題を解決し、様々な商品形態に応用可能(「呈味性」「安定性」「吸収性」「安全性」の付与)とするニュートリションデリバリーシステム(NDS)技術を通じて、お客様とともに、新しい市場創造を目指していきます。



## くらしの中の太陽化学

太陽化学は皆様の食に関わるあらゆる生活のすぐ近くから、化粧品やトイレタリー、家電の中まで、豊かな暮らしを黒子のように支えています。



**1 元気な毎日に**

健康食品、サプリメントに欠かせない機能性素材を、安全性と確かなエビデンスとともにお届けしています。  
**緑茶カテキン、テアニン、グアーガム分解物、ミネラル、カロテノイド**

**2 元気を取り戻す**

流動食の物性コントロールや栄養素の供給、免疫の最前線でもある腸内環境の改善に貢献しています。  
**乳化剤、安定剤、グアーガム分解物**

**3 おいしさと楽しさの演出**

品質を安定させるだけでなく、商品価値を高めるようなテクスチャー、コンセプトを付与します。  
**乳化剤、安定剤、香料、機能性素材**

**4 出来立てのおいしさ**

たまごやさつまいも等の素材に加え、出来立てのおいしさを保持・演出する当社製品は、嗜好性を高めるだけではなく、フードロスの低減にも寄与します。  
**乳化剤、安定剤、鶏卵加工品、さつまいも加工品、酸化防止剤**



**5 さっぱりメイク落とし**

食品添加物の製造メーカーだからできる、肌への安全・安心と使用感に優れた化粧品原料を提供しています。  
**界面活性剤、機能性素材**

**6 抗菌**

洗浄成分に加え、抗菌性を有する素材は皆様の身近なところで毎日の健康を支えています。  
**界面活性剤、緑茶カテキン**

**7 バイオマス度UP**

バイオマス度を上げたり、プラスチック使用量削減のための物性改善に植物由来の界面活性剤が使用されています。  
**界面活性剤**

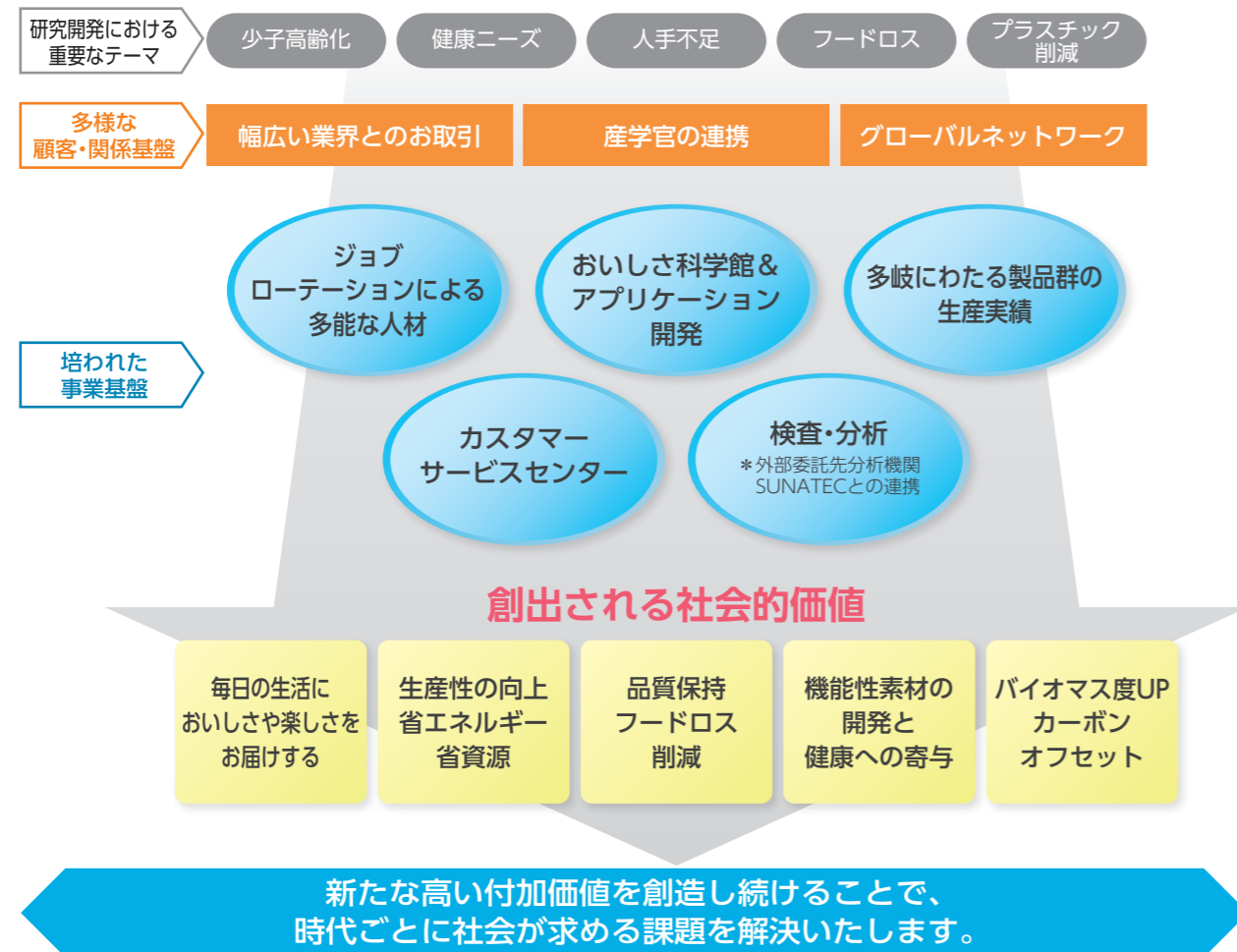
**8 鮮度長持ち**

エチレンガスを分解することにより、野菜室の野菜鮮度が長持ちします。ご家庭でもフードロス、エコの実現に貢献します。  
**TMPS(メソポーラスシリカ)**

# 食を扱う企業としての責任のもと高付加価値なものづくりを推進



好奇心と強い想いにより生み出された“価値”を安全・安心な品質で提供するために、ものづくりの技術を磨き続けます。



### 事業基盤のさらなる強化

- 気付き、アイデアを見つけ、製品を設計する**開発**
- 生理効果だけでなく、メカニズムを含めて学術機関と連動してサイエンスする**研究**
- 製品としてお客様にお届けする上で欠かせない**原料調達**
- 多岐にわたる製品の、安定した生産を可能にする**技術**
- 安全・安心な製品を担保する**品質保証**
- お客様と新しい価値を市場に提供する**カスタマーサービス**



## 安全・安心のものづくり

安全・安心な製品を提供することは、食品原料を扱うメーカーとしての責務です。私たち太陽化学は、おいしさや機能の提供だけにとどまらず、安全・安心を通じて人々の健やかな生活を守る義務があると考えています。年々高まる消費者の「食の安全」への意識に応えるべく、常に最新・最高レベルの安全・安心の実現を目指しています。

### 安全・安心を担保するための施策

#### HACCPをベースにした品質活動

事業部(開発、生産、品質管理、統括)のメンバーでHACCPチームを構成し、品質リスクの抑止を図るための活動を推進しています。

- HACCPチーム
- 生産部署チームリーダー
- 生産部署HACCP担当者
- 開発担当者
- 品質管理担当者
- 各事業部統括の担当者

#### 食品安全マネジメントシステム

世界的な食品安全管理標準規格であるGFSI認証スキームによる品質マネジメントシステムを導入しています。  
・国内工場:SQF・海外工場:FSSC22000



#### 外部委託先分析機関による品質確認

品質の確認に客観性を持たせるため、工程検査等を除く製品検査を外部独立機関の一般財団法人「食品分析開発センター SUNATEC」に委託して実施しています。



SUNATEC検査室

### ソリューションを生み出す源泉

#### 幅広い製品展開

太陽化学は、ほぼすべての食品メーカーに提案ができると言われるほど、幅広い製品展開をしています。その裾野の広さから、様々なアプローチでの価値提供が可能です。

#### 化粧品・化成品向けにも広がる製品

食品素材の研究開発で培った技術力を応用した製品展開を行っています。化粧品・化成品向けといった食品以外にも製品群を広げています。

#### 営業の半分以上が研究開発経験者

研究開発職も営業を経験するジョブローテーションを制度化しています。営業を経験することで視野が広がり、研究開発の幅も広がります。

Imagine, Desire and Create の精神に基づく活動が課題を解決し、ニーズに応える「機能」を提供するソリューションを生み出します。

## Topics

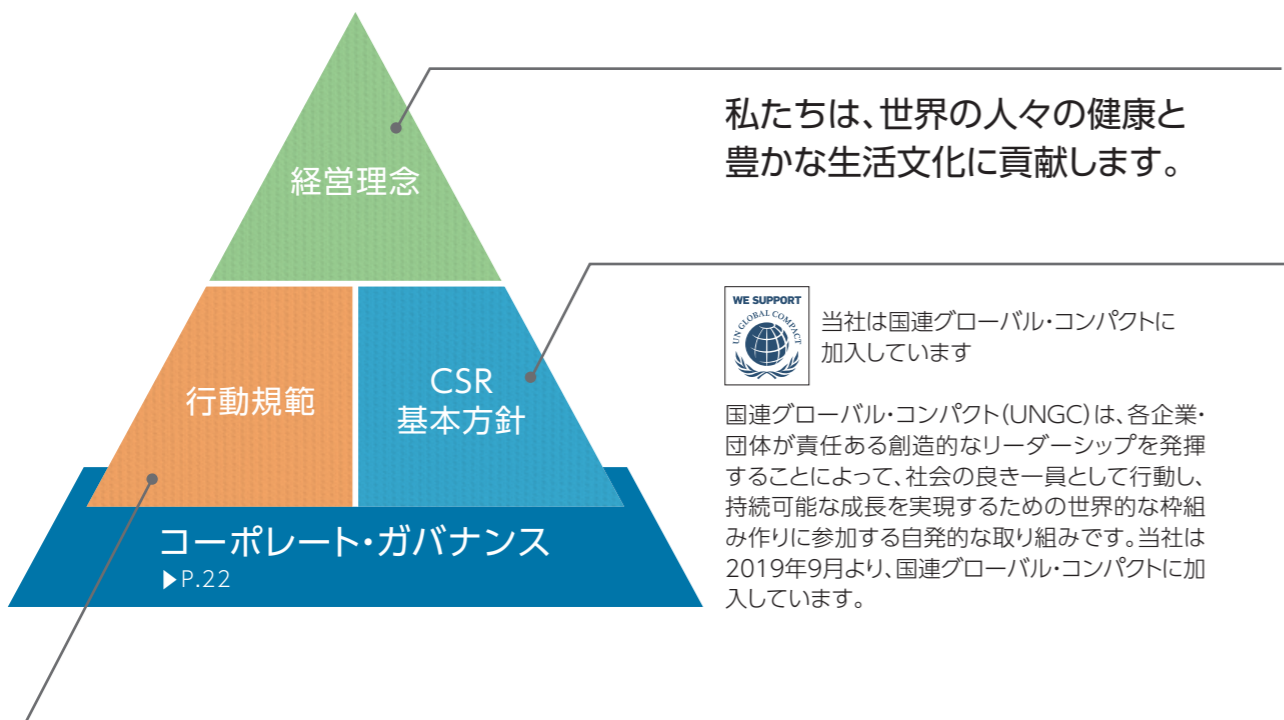
### 一般財団法人「食品分析開発センター SUNATEC」による検査を実施

太陽化学では、外部委託先分析機関である一般財団法人「食品分析開発センター SUNATEC」に製品の検査を委託しています。検査結果は、規格(製品仕様)との照合により自動的に合否判定され、合格品のみが出荷されます。不合格となった製品は出荷の割当てから自動的に外され、不良品のリリースを防止しています。これら検査から出荷までの一連の手続きにより、出荷される製品の品質を確保しています。  
ISO/IEC 17025認定取得(認定番号 RTL02620)



# CSRマネジメント

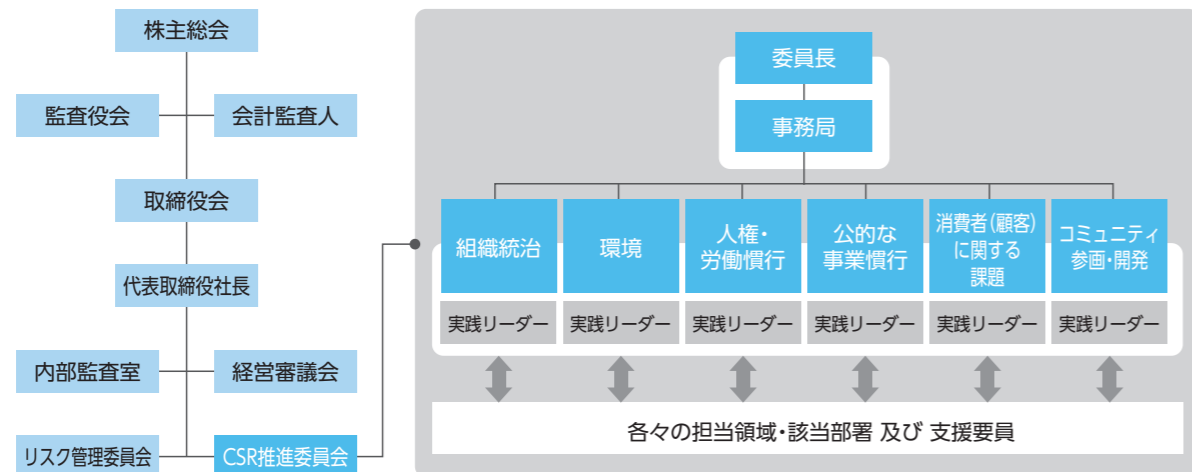
太陽化学グループは、社会から信頼され、必要とされる企業を目指します。  
一人ひとりの社員が基本理念である「好奇心 そして行動」の精神の下、  
社業に取り組み「進化」し続けることが、太陽化学グループの社会的な責任であると考えます。



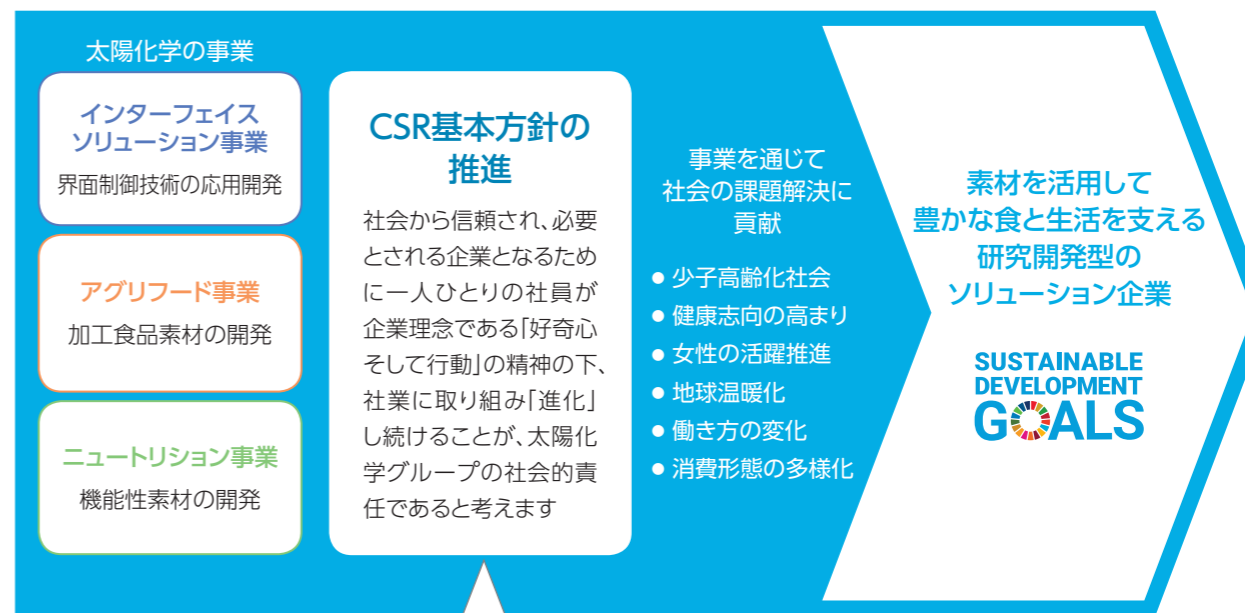
太陽化学は世界的視野に立ち、人々の健康と豊かな生活文化に貢献するため、「好奇心 そして行動 Imagine, Desire and Create」を基本理念とし、全社員が一丸となって常に社会から信頼され、発展・成長し続ける企業を目指しています。この企業像の実現のため、行動規範は太陽化学のすべての役員・従業員及び組織にとって、企業としての社会的役割と責任を自覚し、従業員としての適切な行動をするための拠りどころとなるものです。

## CSR推進体制

当社では、ISO26000の中核課題に準じて、推進責任者を配置し、目標達成に向けた施策と検証を行っております。各推進責任者はそれぞれの課題とテーマを設定し、年間を通じてマネジメントを行い、CSR基本方針の遂行に寄与しています。



## 事業活動とCSR



	4つのCSR基本方針	ESG	ISO26000 中核課題	貢献するSDGs	テーマ	活動
● 1	従業員、株主・投資家の皆様、お客様、お取引先様等すべてのステークホルダーとのコミュニケーションを大切に満足度向上に努めます。	S 社会	人権・労働慣行 公正な事業慣行 消費者課題		従業員とともに	P17・18
					お取引先様とともに	P15
					お客様とともに	P15
					株主・投資家の皆様とともに	P21
● 2	法令遵守のみならず事業活動にて生じる社会への影響に対処し、広く社会からの期待、要望に応えることにより、社会貢献に努めます。	S 社会	コミュニティ参画・開発		地域社会とともに	P20
● 3	人と地球にやさしい企業として地球環境の負荷低減に積極的に取り組みます。	E 環境	環境		地球のために	P13・14
● 4	法令遵守の徹底や不祥事の未然防止を図るため、リスクマネジメントやコンプライアンスの更なる強化徹底に取り組みます。	G ガバナンス	組織統治		コーポレート・ガバナンス	P22~24



# 地球のために

私たちは、人と地球にやさしい企業として、事業活動における環境への影響を考慮し、地球環境の負荷低減に積極的に取り組んでまいります。

## 環境方針

当社は、食品素材メーカーとして自然の恵みに感謝し、人と地球にやさしい企業として、地球環境の負荷低減に積極的に取り組み、皆様に信頼される企業を目指します。

1. 環境関連の法規制を遵守する。
2. 省資源、省エネルギー対策を行う。  
電気/燃料(LNG、都市ガス、LPG、重油、ガソリン、軽油)/工業ガス/水/紙
3. 廃棄物の削減・3Rを推進する。
4. 排水の維持管理を強化する。
5. グリーン購入に配慮する。
6. 環境目標を設定し、全従業員で取り組み実現を図る活動を推進する。
7. 漏洩対策を徹底する。

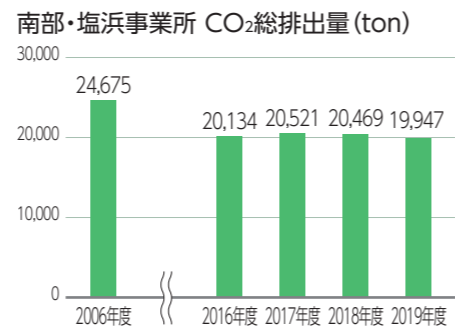
## 環境への継続的な取り組み

太陽化学は事業活動のあらゆる面において、環境負荷の低減に努めています。環境管理委員会を設置し、環境マネジメントシステムの全社的な運用を行うことにより、環境法令の遵守、CO<sub>2</sub>排出量削減、廃棄物の発生抑制及びリサイクル化など、全社的な環境活動を積極的に行っています。この取り組みが評価され、2009年には食品産業優良企業等表彰環境部門において農林水産大臣賞を受賞しました。

## 環境目標と結果評価

国内工場を保有する南部・塩浜の2事業所では、地球温暖化対策を「事業活動を行うにあたっての重要な課題の一つ」としてとらえており、継続的に温室効果ガスの排出量削減に取り組んでいます。

温室効果ガスの排出量削減目標については、生産量を分母とする排出原単位を用いており、基準年に対して生産量原単位年1%削減することを目標として、地球温暖化対策に取り組んでいます。また、CO<sub>2</sub>排出量については、高効率設備の導入や燃料転換により約19%のCO<sub>2</sub>削減を実現しております。



## 環境教育

環境管理委員会にはエネルギー部会、排水部会、廃棄物部会を設置し、社員への教育と環境負荷低減への実効的取り組みを行っています。

各部会では社員の意識向上を目的として定期的な勉強会を実施し、省エネルギー化や環境負荷低減への意識向上を図っています。

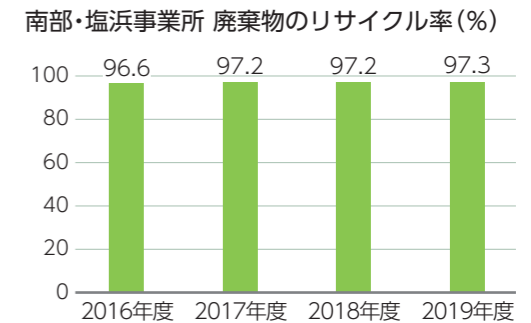


## 環境管理

### 廃棄物管理

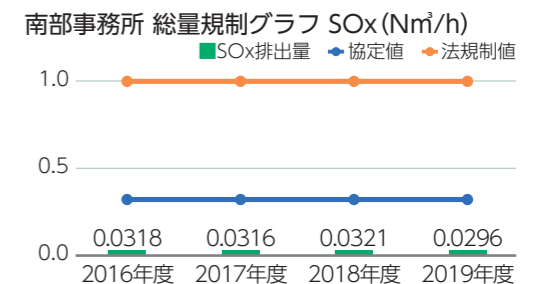
日々の改善活動を通じて、廃棄物の発生抑制に努めています。サーマルリサイクル(熱エネルギーとしての利用)やマテリアルリサイクル(飼料・肥料としての活用)など、再生利用促進を行い、最終処分量(焼却、埋め立て)の削減に努めています。

特に廃プラスチック関係では、減容化などの処理取り組みや原料容器のリユース促進などを行い、全体として廃棄物のリサイクル率97%を達成しております。



### 大気汚染防止

南部事業所では燃焼設備からの排気ガスについて、四日市市と協定を締結し、法規制よりもさらに厳しい基準を設定し、管理を徹底しています。燃料にはLNG(液化天然ガス)を採用し、硫酸酸化物(SOx)を低減しています。蒸気ボイラー設備においては低NOxバーナーを採用し、窒素酸化物の排出抑制に努めています。



### 水質汚濁防止を目的とした排水の水質管理

南部事業所では、処理後の排水を河川へ放流しています。河川放流は、下水道放流より環境への影響が大きく、排出基準値が厳しく設定されています。南部事業所は四日市市と協定を締結し、法規制より厳しい基準を設定し管理しています。

排水処理設備では、放流水及び処理工程に応じた監視測定を行い、異常を早期発見できる体制を整えています。

※塩浜事業所については、公共下水への放流となっております。

### 南部事業所 排水出口 水質データ (抜粋)

項目	協定値	最大値実績
COD	30mg/l以下	29.69mg/l
BOD	10mg/l以下	1.4mg/l
T-N	10mg/l以下	9.3mg/l
T-P	1mg/l以下	0.82mg/l

2019年度も継続して基準値を超える数値は検出されていません。

### 化学物質の管理

PRTR法(化学物質管理促進法)における対象物質の取扱量算定を適切に行っております。報告対象となる第一種指定化学物質は右記の通りとなります。

第一種指定化学物質	排出量	移動量
政令番号 第438号 メチルナフタレン	10.6kg	なし
政令番号 第071号 塩化第二鉄	なし	なし

### エネルギー管理の強化

2016年度より、国内工場を保有する南部・塩浜の2事業所ではエネルギー使用量を見える化して一元管理を行っています。十数個の各プラントでの使用エネルギー量を把握することで、より効果的に使用量管理を行い、削減意識を高めています。

エネルギー使用量が多くなる夏場には節電対策会議を開催し、ピーク時の電力使用量削減に努めています。食品製造においては衛生対策が強化され空調負荷が増加する中、高効率空調システムの導入などにより原単位改善に取り組んでいます。





# お取引先様とともに/お客様とともに

私たちはお取引先様を大切なパートナーと考え、適切な取引を徹底し公正・公平な関係性を保ってまいります。また、お客様とのコミュニケーションを大切に、市場のニーズに合った優れた製品開発、良質なサービス、及び情報を提供することで、皆様との良好な関係を実現してまいります。

## サプライチェーン

### 調達方針

1. 品質本位：私たちは、安全な品質を第一に考えた調達を行います。
2. サプライヤー：私たちは、お取引先を大切なパートナーと考えます。
3. 環境への配慮：私たちは、人と地球にやさしい企業として、地球環境の負荷軽減を重視した調達に積極的に取り組みます。
4. 法令遵守：私たちは、法令を遵守し、信頼される企業を目指した調達を行います。
5. 社会貢献：私たちは、透明で信頼ある調達活動を通じて更なる社会貢献を行います。

### 原材料調達について

当社では世界食品安全イニシアチブ(GFSI)が認定するHACCPを主軸とした食品安全管理プログラムSQFの要求事項に従い、ガイドラインを定めて原材料調達を行っております。

### 持続可能なパーム油の調達

当社は2017年より「持続可能なパーム油のため円卓会議(RSPO)」に正会員として加盟し、2018年に塩浜事業所の乳化剤製品を中心にサプライチェーン認証を取得しており、持続可能なパーム油の調達活動に取り組んでおります。

### 反社会的勢力との関係遮断

当社は、反社会的勢力との関係を絶ち、反社会的勢力には毅然とした態度で臨むことを「太陽化学行動規範」に明記し、教育・研修を通じて、役員・従業員に周知徹底しています。

## 品質保証

### 品質方針

1. 私たちは、食品関連法規を遵守し、安全・安心な製品をお客様へ提供します。
2. 私たちは、製品の安全性を確保するため、品質システムを確立し、維持します。
3. 私たちは、HACCP(ハサップ)を品質システムの基盤とします。
4. 私たちは、製品の安全性に問題が生じたときの報告義務を徹底します。
5. 私たちは、品質システムを毎年見直し、改善します。

上記の品質方針のもと、品質マネジメント活動を実行し、その活動を通してリスクを抽出してその抑止を行い、あるべき姿にすることにより安全・安心な製品作りを進めてまいります。

また、世界的な食品安全管理標準規格であるGFSI認証スキームによる品質マネジメント認証の拡大を実行してまいります。(国内工場:SQF、海外工場:FSSC22000)

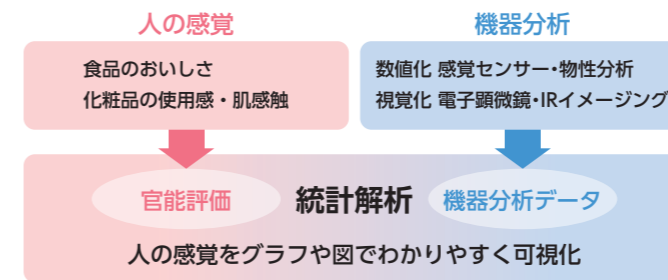
## 顧客満足・カスタマーサービス

### おいしさ科学館の活動

おいしさ科学館は、東京本社(港区浜松町)内に併設された食品及び化粧品の製造・販売会社の方や外食産業、理美容業界の方など「食」「化粧品」を提供する方々のためのスペースです。

人によって好みは異なり、近年様々な嗜好に合わせて商品も細分化されています。それらが「どのように違うのか」をお客様と一緒に考えるスペースがおいしさ科学館です。

おいしさ科学館では、様々な統計解析を用いて「人の感覚」と「機器分析データ」を融合しています。機器分析と人の感覚を合わせて解析することで、各商品の特徴を表したプロダクトマップを示すことができます。そこから「食品のおいしさ」「化粧品の使用感」などについて、これまでより一層深い次元でお客様と意見交換を行っています。



お客様と一緒に、おいしさの「なぜ」をディスカッションするためのプレゼンルームです。



各種機器をそろえた分析スペース。おいしさをいろいろな角度から科学的に分析・評価します。

### コーシャ、ハラールへの対応

当社では、海外のお客様からのご要望にお応えできるように、一部の製品においてコーシャ、ハラールの認証品の製造、販売を行っております。

### Topics

## タイヨーラボ・ショップがオープン



2020年2月10日、(株)タイヨーラボ初となる実店舗を東京本社1階にオープンいたしました。

タイヨーラボ・ショップは信頼品質のサプリメント販売に加えて、日常で気になる身体の状態を簡単・短時間で計測できる「健康セルフチェックコーナー」をそなえた体験型の店舗です。

日々の健康チェックや定期的開催される健康イベントへの参加を通じて、「いきいきと豊かな生活のきっかけづくり」を提案してまいります。

- サプリメント販売
- 健康セルフチェック
  - 糖化度(AGEs ※老化指標) / ストレス度 / 血管年齢 / 脳活動度 / ヘモグロビン値(貧血チェック) / 血圧 / 体組成(内臓脂肪・筋肉量他)
- 健康イベント



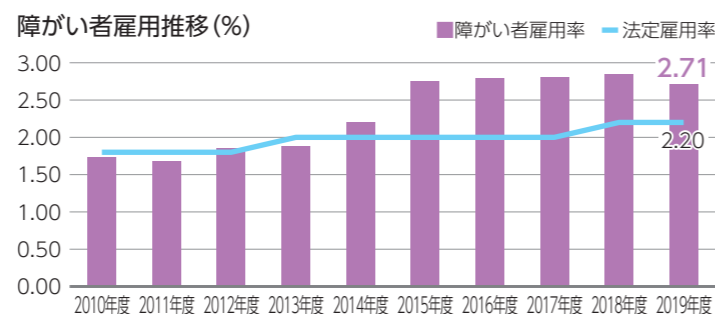
# 従業員とともに

私たちは、お互いの人格と個性を尊重し、多様な人材がワークライフバランスを保って働くことのできる、健康的で意欲あふれる職場作りを推進してまいります。

## 障がい者雇用

当社は障がいのある方を雇用し、継続して働き続けていただくことで、安定し自立した生活ができるよう支援しています。

当社行動規範では、地域社会との協調に努め、信頼される企業を目指すこと、お互いの人格と個性を尊重し、思いやりと信頼を元に行動することを定めています。



## ワークライフバランス(働き方改革の推進)

当社は、従業員が安心して働き続けられる環境づくりを推進しています。

### 育児に関する制度、取り組み

プレママミーティング	妊娠～産休に入るまでの間、人事女性担当者と本人とその上司で面談を実施する取り組み。産休までの働き方、復帰後の働き方を上司とも共有しながらサポートしていきます。
育児休業制度	出産～育児に伴い最長2歳(諸条件あり)まで取得できる制度
育児短時間勤務制度	産休復帰後より小学校2年生の始業式までの間、所定労働時間を6時間へ変更することができる制度
育児のための時差出勤制度	育児のために所定労働時間を前後1時間変更し勤務できる制度
子の看護休暇	小学校2年生の始業式までの子を養育する従業員は、病気や予防接種、健康診断の際に、取得できる休暇制度(無給・上限あり)

育児休業取得率  
**100%**

### 介護に関する制度

介護休業制度	対象家族1人につき、原則として通算100日間の範囲で介護休暇が取得できる制度
介護休暇制度	要介護状態にある家族の介護その他の世話をする従業員(日々雇用する者は除く)当該家族が1人の場合は1年間につき6日、2人以上の場合は1年間につき12日を限度に特定休暇として、介護休暇(無給)を取得できる制度
介護短時間勤務制度	介護のために所定労働時間を6時間へ変更することができる制度
介護のための時差出勤制度	介護のために所定労働時間を前後1時間変更し勤務できる制度

### ワークライフバランスにおける取り組み

在宅勤務制度の導入 従業員(2019年4月より導入開始)

## ダイバーシティと機会均等

人事異動にあたっては、現在の仕事状況や今後のキャリア希望などを自己申告させ、社員の職域拡大の要望を反映させる仕組みを取り入れています。

現在従事する業務に関する内容はもちろん、新たな職域へ挑戦できる環境を整えています。

また、子育て中の社員が仕事と家庭の両立を図ることができるよう、子が小学校2年の始業式に達するまで育児短時間勤務制度を利用できるようにしました。

作業工程や手順を明確化することで仕事内容の共有化を図り、休暇や勤務時間短縮の制度を利用しやすくするなど、女性が働き続けられる環境づくりを行っています。

## 従業員とともに

## 安全・安心の職場づくり

当社グループでは、従業員を守るためにも、災害・事故防止対策は最重要課題と認識しています。労働安全衛生法に基づき、安全衛生に関する基本方針及び年間安全衛生目標スローガンを掲げ、安全衛生委員会を毎月開催。事故防止策の徹底、社内教育の実施により、無事故・無災害を目指すとともに、情報共有を図ることで、社員一人ひとりの安全意識の向上に取り組んでいます。



## 人財育成

特定分野の専門性を追求する「専門家」も必要ですが、当社においては、幅広い経験を通して視野を広げることを目的に定期的なジョブローテーションを実施し、「専門家」よりも複数分野における専門性を身につけた「プロフェッショナル」になることを社員に期待しています。

また、企業内研修では外部の講師だけでなく、社員自身が社内講師となり、社員を指導する企業内研修を活発に行っています。社員が考え、実践することで、その社員自身の成長を図ります。

新入社員研修では、現場実習を実施し、製造会社である当社にとって大切な「ものづくり」を経験し知識を深め、様々な部署を経験することで円滑なコミュニケーション、成長を促す実習カリキュラムを組みます。

この新入社員研修では、期間中の指導者として、入社2年目以降の若手先輩社員が業務や精神的なサポートを行う、メンター制度を設けており、若手社員自身が教えることで、自身の成長へ繋がることを期待しています。

海外研修制度では、多様な価値観や日本とは異なる文化の中でも業務を遂行できるグローバルな人財の育成を目指します。



## 従業員の家族とともに ～ファミリーデー～



当社では、家族の皆様の支えがあってこそ従業員が安心して働き続けることができると考えており、毎年夏に「ファミリーデー」を開催し、お子様をはじめ従業員の家族に、当社を知ってもらう機会を設けています。

当初は、会社紹介中心の企画からスタートし、今では会社紹介だけでなく、見学ツアー、当社技術を使ったものづくり企画、社員食堂で家族揃ってのランチまで、幅広く当社を知ってもらう内容となっております。

2019年で15回目を迎え、今では恒例行事となり毎年総勢200名以上の家族の参加があります。当社は、これからも、従業員の家族の皆様を支えられながら働きやすい会社を目指していきます。



# 地域社会とともに

私たちは、地域社会との共生に努め、地域活動を通じて社会への支援や産学育成に取り組み、信頼される企業を目指してまいります。

## CSR TOPICS



トレーナー研修風景

### 独自の企業内研修

# 基本道場



当社では、2009年より“安全”と“好感”を軸とした研修の場として、基本道場を開設しています。これは社員が考え、社員がトレーナーとなって全社員に対し、当社が大切に考えている基本的なことを伝える場としています。

基本道場のねらいとしては、社員の行動が良くなれば、社員の価値が上がりそして最終的に会社の価値を上げることにあります。

基本行動研修の内容は、主に安全・安心を第一に、あいさつ、服装、5Sや当社の歴史を振り返るなど、ほぼ毎年内容を変えて実施しています。

トレーナーを担当する社員も毎年更新された内容に合わせて「トレーナー研修」を受けることになっています。

当社の社員=よき社会人として全員がレベルアップできる場をこれからも作っていきます。



研修風景① 安全



研修風景② 服装チェック



研修風景③ あいさつ

#### 基本道場「従業員基本行動研修内容」(抜粋)

開始	大きな声で!	安全知識	過去事例から学ぶ / 安全の再確認を徹底する / 労災事例から学ぶ
基本方針唱和	企業理念、行動規範、年度スローガンの唱和	会社基本知識	社員として最低限の会社知識 / 70年史理解度テスト
服装点検	工場入場を想定したセルフチェック / 食品製造メーカーの社員として自覚確認	指差呼称	安全について学ぶ / 左右確認 / 巻き込まれ体験
あいさつ実施	職場での実践 / 実技方式 「気持ち伝わるあいさつを」	ローラー(クリーナー)チェック	工場入場時の基本を学ぶ / 異物混入防止の基本の徹底
電話対応	ビジネスマナーの実践	手洗いチェック	基本中の基本 / 食品衛生管理の基本の徹底 / 30秒ルール
片付け実施	工具板を使用した訓練	ストレス緩和	ストレッチ体操 / 座禅実演 / 足ツボ体験学習
*標準作業	(訓練) ポールペン組立作業の実施による気づき	修了	誓いの言葉
5Sチェック	5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)の本質と目的を学ぶ		

\*標準作業:人の動きを中心とした、手順にムダがなく効率的な作業。

## 地域活動

### 鈴鹿川クリーン作戦に参加

当社は、工場近隣の住民等との地域に密着した社会貢献活動を進めています。毎年、国土交通省が呼びかけ地元自治会が主催する鈴鹿川クリーン作戦に参加し、地域の方々や企業の方々と一緒に、鈴鹿川河岸の清掃活動を行っています。



### 神明プラザでの活動

東京本社(港区浜松町)に隣接する港区立神明いきいきプラザは「集い、学び、育くむ」をキーワードに、60歳以上の方を中心に、趣味、レクリエーション、学習活動の場、介護予防や健康づくりの活動の場、区民の交流や地域活動の場となっています。また、年に1回、港区の企業がブースを出展してのプラザ神明フェスティバルが開催されています。当社は多様な素材を活かした食品づくり体験や機器を用いた健康チェックを行っています。



このほか、神明いきいきプラザと共同で、腸活に関するセミナーを地域住民の方々に向けて実施しました。

## 産業育成

### 抗酸化・機能研究会の開催

食品の抗酸化、機能研究に関する産学官連携を推進することを目的に2018年4月に設立されました「抗酸化・機能研究会」は、大澤俊彦・愛知学院大学客員教授や吉川敏一・前京都府立医科大学学長など農学・医学分野の抗酸化の権威が中心となり、日本の主だった食品製造、流通企業など約百社が加わって活動を進めています。



### 三重大と教育研究に係る連携・協力に関する協定を締結

2019年2月26日、三重大と「連携大学院」を設置し三重大学内で協定を締結しました。連携大学院は、外部の研究機関の設備などを活用した教育を実施する機関です。新設する連携大学院は、三重大学大学院生物資源学生物圏生命科学専攻内に設ける「食品機能学コース」であり、食品に含まれる栄養素の効能などを研究します。



### おいしさ科学館の公益活動

おいしさ科学館では、若い学生に「食」と「おいしさ」に興味を持っていただくための啓蒙活動として、学生向けに無償で講演を行っています。

おいしさ科学館がある当社東京本社に招いての講演・見学、大学や高校の家庭科授業での出張講演、他に修学旅行で東京を訪れた中学生に対してのグループ学習も行っています。

講演では、人がどのようにして「おいしさ」を感じているのかをわかりやすく解説し、市販の飴やチョコレートを試食することで「おいしさ」に係る事象を体験いただくほか、味の感度を調べるための基本5味テストにも挑戦いただいております。また、当社東京本社で講演する場合は、プリン物の物性測定の実演も見学いただいております。



東京本社にて東京家政学院大学の学生に講演



# 株主・投資家の皆様とともに

私たちは株主・投資家の皆様に向けた適切な情報開示によって経営の透明性を保ち、その信頼に応えるよう取り組んでまいります。

## 会社情報の適時開示

当社は、金融商品取引法及び名古屋証券取引所の定める「上場有価証券の発行者の会社情報の適時開示等に関する規則」(以下「適時開示規則」)に従い、適時・適正な情報の開示を行っております。また、適時開示規則に該当しない情報であっても、株主・投資家の皆様当社を理解していただくために有用と判断される情報については、積極的に公表してまいります。

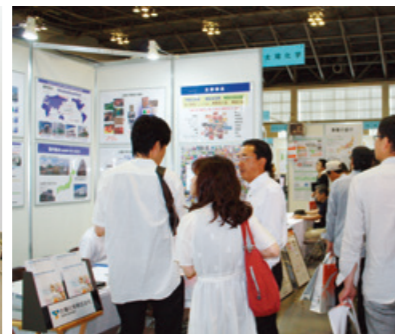
## 株主・投資家の皆様とのコミュニケーション

当社は、株主・投資家の皆様とのコミュニケーション(IR活動)として、当社ホームページ内のIR情報サイトで、業績推移などの各種データを開示しているほか個人投資家及びアナリスト・機関投資家向けに毎年、名証IRエキスポに出展しています。

また、個別ミーティングや電話取材を通して、企業経営や事業活動について説明しています。これからも株主・投資家の皆様の声を、経営や企業価値の向上に活かしてまいります。



名証IRエキスポへの出展



名証IRエキスポの展示ブース

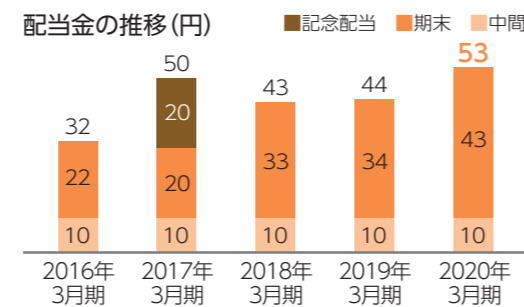


IR情報サイト

## 株主の皆様への利益還元

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の最も重要な課題のひとつに位置づけております。

利益配分は、安定的な基準配当年間20円に、業績に応じた利益還元分を加え、配当性向30%を目処として継続的に行うことと、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な将来に備えた内部留保の充実を図ることを基本方針としております。



基本方針      基準配当      年間 **20円**      配当性向      **30%**



# コーポレート・ガバナンス

私たちは、信頼される企業であり続けるため、健全で強固なコーポレート・ガバナンス体制の構築に向けて継続的に取り組んでまいります。

## 基本的な考え方

当社グループは、総力を結集し、新たな課題に積極的にチャレンジし進化していく研究開発型企業として、企業価値・株主価値の向上に努めております。

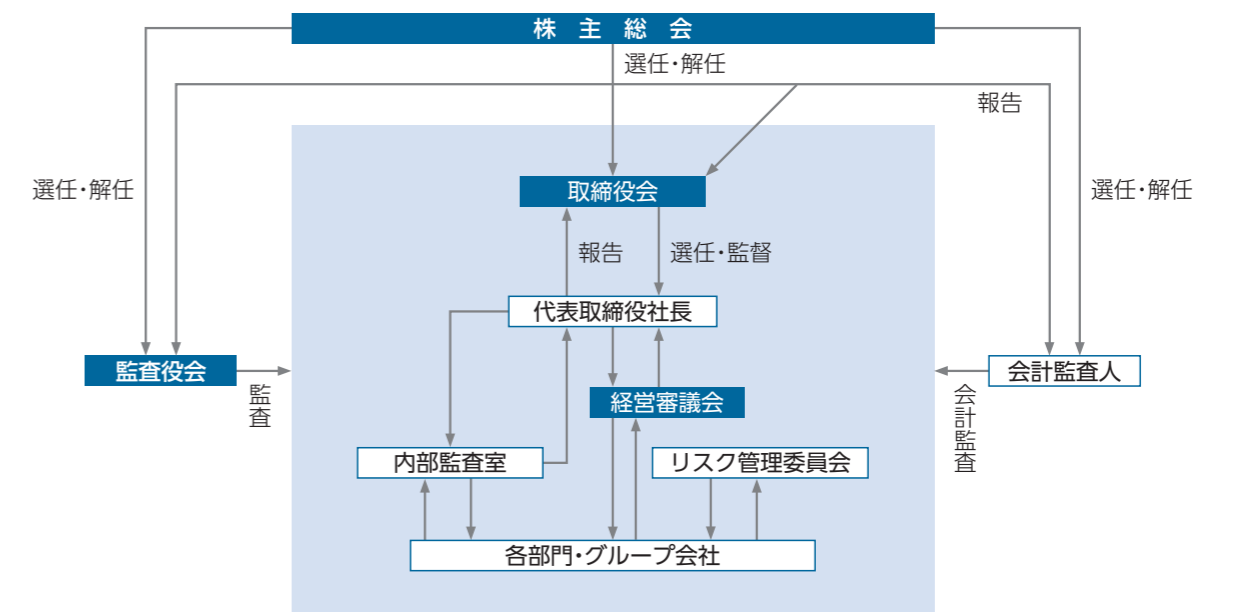
また、社会的な責任を果たし、かつ持続的な成長、発展を遂げていくことが重要であるとの認識に立ち、経営の透明性・健全性の向上とコンプライアンスの徹底に取り組み、コーポレート・ガバナンスの強化に努めております。

## コーポレート・ガバナンス体制

企業が健全で持続的な成長を続けるためには、経営陣の素早い意思決定と、それを実行に移す体制が重要です。当社は、社外取締役の増員、取締役会全体の実効性評価・分析、会計監査人候補の評価など仕組みづくりを行ってきました。取締役会で経営の迅速な意思決定を行い、監査役会にて取締役の業務執行に関する監査を行うことで企業の透明性を高めています。

当社は、経営統治機関として株主総会、取締役会、監査役会のほか、経営審議会を設置しております。当社の取締役会は、社外取締役2名を含む9名で構成されており、経営上の重要な意思決定を速やかに執行するとともに、各取締役の業務執行状況の監督機関として、原則として毎月1回開催しております。監査役会は、社外監査役2名を含め3名で構成されており、取締役の業務執行の適法性、妥当性の観点から監査を行っており、監査役会は、原則として毎月1回開催しております。

経営審議会は、代表取締役、常勤監査役で構成されており、経営の意思決定の仕組みを明確にし、経営の透明性をより高めることを目的として経営戦略、中長期計画等を審議・決定する機関として随時開催しております。また、代表取締役社長直轄の独立した組織として内部監査室を2名体制で設置しております。2名は監査役スタッフを兼任しており、内部監査計画に基づき適法性、妥当性、効率性の観点から内部監査を実施しております。

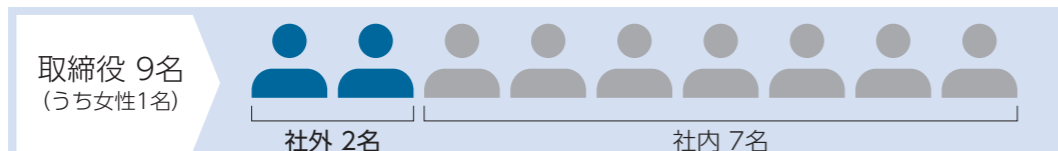




## ■ 社外取締役の増員

当社は、取締役会の透明性・客観性の確保を目指して2015年から社外取締役を選任しています。より一層の透明性の向上や株主視点からの議論の活性化を目指し、2019年6月より、社外取締役を従来の1名から2名へ増員し、社外取締役の比率を高めています。そのうち1名は当社にとって初の女性取締役です。

なお、社外取締役2名のうち1名については、名古屋証券取引所が定める社外取締役と社外監査役の独立性に関する判断基準を参考に、現職及び過去の経歴において一般株主との利益相反が生じるおそれがなく、独立性が保たれていると判断し、独立役員として指定しています。



## ■ 社外役員(取締役・監査役)の独立性判断基準

当社は、名古屋証券取引所が定める独立性基準及び当社の定める「独立性を確保するための社外役員(取締役及び監査役)の選任基準」を満たすとともに、幅広い業務経験と知見を有するかどうかといった観点から、独立社外取締役の候補者として選定しております。

これに基づき、当社は、社外取締役の1名及び社外監査役の1名について、名古屋証券取引所が定める独立役員として届け出ております。

## ■ 取締役会の実効性評価の概要

太陽化学は、取締役会の実効性向上のため、毎年取締役による自己評価・分析、及び監査役会・社外取締役による取締役会全体の分析・評価をアンケートにより行っております。

2020年3月時点にてアンケートを実施し、①議論・検討の実効性、②監督機能の実効性、③リーダーシップの実効性、④環境整備状況の実効性、⑤株主・ステークホルダーへの対応の実効性、⑥取締役会の構成等に関する実効性の各項目について、取締役の職務執行状況等を評価・分析した結果、当社の取締役会の実効性は十分確保されていることを確認しました。

取締役会は、付議議案や報告事項の報告にあたり、事前に準備する資料、及び事前の説明を充実させることによって、社外役員の専門性や見識をより一層発揮いただき、取締役会に活かしてまいり所存です。また、取締役会への付議議案にとどまらず、当社グループ全体の事業内容や重要な経営課題について、取締役、社外役員との情報交換を進めてまいります。

## ■ 内部統制システムの整備の状況

金融商品取引法に基づく財務報告の適正性に関する内部統制報告制度(J-SOX)への対応については、法令成立に先立ち2005年10月より内部監査室が内部統制システムの構築を推進し、当社グループ内外における同システムの確実な運用体制を整備しています。

当社は、会社法及び会社法施行規則に定める「取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制、その他会社の業務の適正を確保するための体制」について取締役会において決議し、当該決議に基づく着実な運用を行い、体制の構築に努めております。

### ■ コンプライアンス

#### ■ コンプライアンス委員会

法令遵守の観点から、社内規程、社内ルールを定め、周知徹底するとともに、コンプライアンス委員会を開催し、モニタリング、報告を行っております。

#### ■ コンプライアンス通報窓口

当社の社会的信頼を維持することを目的として、社内相談室を設置し、顧問弁護士の法律事務所を窓口とした内部通報制度を整備することにより、法令違反や不正行為の早期発見や未然防止に努めております。

### ■ リスクマネジメント

#### ■ リスク管理委員会

経営に重大な影響を与える可能性のある損失を事業リスクと定め、リスク管理及び危機管理規程を制定するとともに、リスク管理委員会を開催し、モニタリング、報告を行っております。

リスク管理委員会では、当社及び子会社の事業リスクの把握・統制・回避を図るために年2回開催するとともに事業リスクの統制・回避の実践状況に関するモニタリングを実施し、その結果を取締役に報告しております。

#### ■ 危機管理体制

「危機管理要綱」を制定して自主保管理体制の強化に取り組み、自然災害や事故、製品・サービスに係るリスク等を想定した緊急事態対応訓練を実施して、被害拡大防止に備えています。

#### ■ 事業継続への取り組み

当社は、「危機管理要綱」に、事業継続が経営上の重要事項であることを定め、事業継続を確実なものとするべくBCP策定プロジェクトを立ち上げ、BCP(事業継続計画)の整備に取り組んでいます。BCPの内容とその整備状況、訓練の結果などはBCP策定プロジェクトにて有効性を検証するとともに今後の対応方針が示され、これに基づき各部門が対応を進めることで、BCPのさらなる改善を図っています。

#### ■ 情報セキュリティ

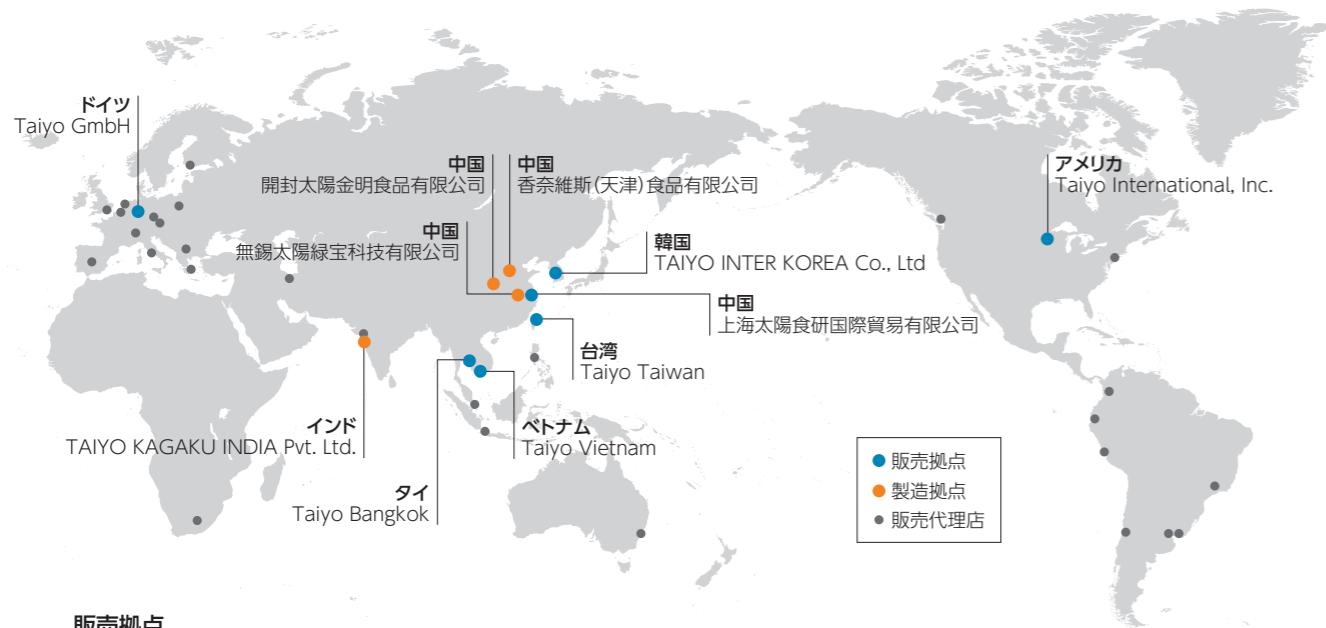
当社は、社会的責任を担う企業として情報リスク管理の重要性を認識し、不正アクセスや情報漏洩、システム災害等の脅威から情報資産を守り、情報セキュリティの向上に努めて、健全で豊かなコミュニケーション社会の構築を目指してまいります。

# 会社概要 (2020年3月31日現在)

**商号** 太陽化学株式会社  
**設立** 1948年1月28日(創立/1946年5月)  
**資本金** 77億3,062万円  
**代表者** 山崎長宏  
**従業員** 867名(この他臨時従業員170名)/連結  
**売上高** 403億64百万円/連結  
**本社所在地** 四日市本社  
 〒512-1111 三重県四日市市山田町800番  
 東京本社  
 〒105-0013 東京都港区浜松町1丁目6番3号  
<https://www.taiyokagaku.com/>



## 海外事業所



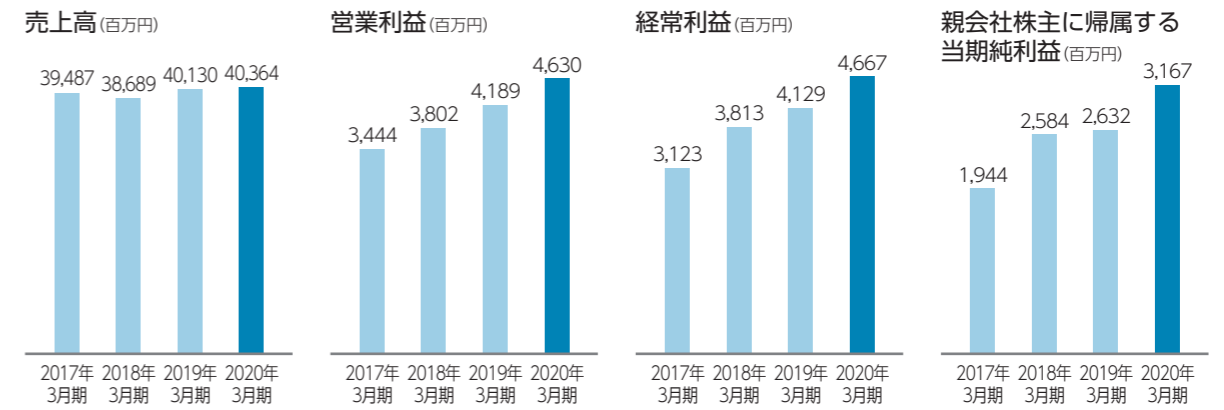
**販売拠点**  
 アメリカ、タイ、中国、台湾、韓国、ベトナム、ヨーロッパ

**販売代理店**  
 アルゼンチン、イギリス、イタリア、イラン、インド、インドネシア、ウルグアイ、エクアドル、オランダ、オーストリア、オーストラリア、カナダ、ギリシャ、コロンビア、シンガポール、スイス、スペイン、チェコ、チリ、フィリピン、フィンランド、ブラジル、ブルガリア、ペルー、ベルギー、ポーランド、マレーシア、南アフリカ



四日市本社

# 財務・非財務ハイライト



## 財務情報(連結)

	単位	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期
売上高	百万円	39,492	39,487	38,689	40,130	40,364
営業利益	百万円	2,746	3,444	3,802	4,189	4,630
経常利益	百万円	2,419	3,123	3,813	4,129	4,667
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	2,005	1,944	2,584	2,632	3,167
純資産額	百万円	33,950	35,735	37,784	38,297	40,078
総資産額	百万円	41,731	44,830	48,301	48,813	49,751
株主資本利益率(ROE)	%	6.1	5.8	7.3	7.1	8.3
設備投資額	百万円	1,024	927	2,334	2,465	2,305
減価償却費	百万円	1,114	1,059	1,137	1,136	1,138
研究開発費	百万円	1,174	1,202	1,304	1,309	1,413
売上高研究開発費比率	%	2.97	3.04	3.37	3.26	3.50
自己資本比率	%	79.0	77.2	75.9	76.7	78.8
営業活動によるキャッシュ・フロー	百万円	2,023	5,821	3,983	3,266	4,217
投資活動によるキャッシュ・フロー	百万円	△ 1,519	△ 1,520	△ 2,242	△ 3,654	△ 2,869
財務活動によるキャッシュ・フロー	百万円	△ 1,724	△ 587	△ 968	△ 2,081	△ 1,002
1株当たり当期純利益	円	104.55	105.99	140.88	143.71	174.64
1株当たり配当金	円	32.00	50.00	43.00	44.00	53.00
配当性向	%	30.6	47.2	30.5	30.6	30.3

## 非財務情報(社会性指標)

	単位	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
労働災害度数比率 <sup>*1</sup>	%	0.00	1.65	0.84	2.45	0.00
従業員数 <sup>*2</sup>	名	559	559	556	541	547
海外従業員数 <sup>*3</sup>	名	343	340	339	322	311
平均勤続年数	年・月	20年2ヶ月	20年4ヶ月	20年4ヶ月	19年10ヶ月	20年1ヶ月
女性採用比率	%	25.0	58.3	33.3	37.5	37.5
管理職女性比率	%	1.6	3.2	3.3	4.4	5.8
障がい者雇用率	%	2.76	2.80	2.81	2.85	2.71
女性従業員育児休業取得率	%	100	100	100	100	100
有給休暇取得率 <sup>*4</sup>	%	58.42	61.01	65.98	66.00	67.07
育児休業取得者数	名	12	16	15	11	14

<sup>\*1</sup> 労働災害による死傷者数/延べ実労働時間数×1,000,000で算出 <sup>\*2</sup> 社員・契約社員 <sup>\*3</sup> 海外子会社の従業員 <sup>\*4</sup> 有給休暇付与日ベースで計算